

52 回生シラバス

科目名：構造と機能・疾病論Ⅰ（総論） 単位数： 1		担当者： ① 医師（内科・健康診断科）	総時間数（回数） 20（10）	時期：1年前期
科目目標：・人体の発生，構成について理解する。 ・生命を維持するための生理機能を理解する。 ・疾病の原因と病態の特徴について理解する。				
回	単元	単元目標と内容	方法担当	学習範囲及び事前課題
1	構造と機能 人体とは何か 人体の素材としての細胞・組織 構造と機能からみた人体	・細胞と組織について理解し，構造と機能からみた人体について理解する 細胞の構造、細胞を構成する物質とエネルギーの生成、細胞膜の構造と機能 細胞の増殖と染色体、細胞がつくる組織 構造からみた人体、機能からみた人体、体液とホメオスタシス	講義 ①	教科書① 序章 第1章
2	消化と吸収	・消化器系の構造と機能について理解する 口・咽頭・食道の構造と機能、腹部消化管の構造と機能 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能、腹膜	講義 ①	教科書① 第2章
3 4	呼吸と血液の循環	・呼吸器・循環器系の構造と機能について理解する 呼吸器の構造、呼吸 循環器系の構成、心臓の構造、心臓の拍出機能、末梢循環系の構造 血液の循環とその調節、リンパ管、血液	講義 ①	教科書① 第3章 第4章
5	体液の調節と尿の生成 内臓機能の調節	・腎臓の構造と機能・内分泌系の調節機能について理解する 腎臓の構造と機能、尿生成のメカニズム、排尿路 内分泌とホルモン、サーカディアンリズム、体内時計	講義 ①	教科書① 1巻 第5章 第6章
6	からだの支持と運動	・筋・骨格系の構造と機能について理解する 骨格とは、骨の連結、骨格筋、体幹の骨格と筋、上肢の骨格と筋、下肢の骨格と筋、頭頸部の骨格と筋、筋の収縮	講義 ①	教科書① 第7章
7	情報の受容と処理	・脳・神経系の構造と機能について理解する 神経系の構造と機能、脊髄と脳、脊髄神経と脳神経、脳の高次機能 運動機能と下行伝導路、感覚機能と上行伝導路、味覚、疼痛	講義 ①	教科書① 第8章

回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲 及び 事前課題
8	疾病論 正常と病気の状態 循環障害 細胞と組織の障害	<ul style="list-style-type: none"> ・正常と病気の状態について理解する 生理と病態生理、正常性をゆがめる要因、正常への回復に影響する要因 ・循環障害について理解する。 虚血と梗塞、充血とうっ血、浮腫と腹水・胸水、出血 ・細胞と組織の障害について理解する 細胞の損傷と適応、細胞の死、変形・圧迫による臓器の障害、炎症 	講義 ①	教科書② 第1章A、 B、C
9	感染症 腫瘍 先天異常と遺伝子異常	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症について理解する 病原体と感染症、感染の成立、治療と予防 ・腫瘍について理解する 良性腫瘍と悪性腫瘍、上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍、がんの進展・転移 ・先天異常と遺伝子異常について理解する 奇形、遺伝子異常と染色体異常 	講義 ①	教科書② 第1章D、 E、F
10	終講試験		試験 ①	
教科書 参考書 ① (系看) 人体【1】解剖生理学 (医学書院:eテキスト) ② (系看) 疾病【2】病態生理学 (医学書院:eテキスト)		評価方法 筆記試験 【配点】 100点		
		評価基準 60点以上で合格とする。		

担当者①実務経験あり

科目名：構造と機能・疾病論Ⅱ（呼吸器系） 単位数： 1		担当者： ① 医師（呼吸器内科） ② 医師（胸部外科） ③ 実習指導教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 30 (15)	時期：1年前期
科目目標： ・呼吸器系構造と機能について理解する。 ・呼吸器系の代表的な疾患に対する病態・検査・治療・合併症・予後について理解する。				
回	単 元	単 元 目 標 と 内 容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1 2	構造と機能 呼吸器の構造	・呼吸器系の構造について理解する。 気道の構造、肺の構造、縦隔の構造、肺と胸部・胸腔・胸膜の関係、横隔膜	講義 ①	教科書① 第3章 教科書② 第2章
3	呼吸の生理	・呼吸の生理について理解する。 呼吸調節、換気運動、ガス交換、酸・塩基平衡	講義 ①	教科書① 第3章 教科書② 第2章
4 5	症状とその病態生理	・呼吸器疾患に伴う主な症候について理解する。 ・それぞれの症候について、発生の機序を理解する。 ・発生機序が職業や作業と関連する症候について理解する。 呼吸の異常、呼吸困難、胸痛、咳嗽、喀痰、血痰・喀血、喘鳴、副雑音、チアノーゼ、ばち指、CO ₂ ナルコーシス、胸水	講義 ①	教科書① 第3章 教科書② 第3章
6	検査と治療・処置	・呼吸器疾患に伴う主な検査と治療・処置について理解する。 血液検査、喀痰検査、胸水検査、画像診断、内視鏡検査、生検、呼吸機能検査、酸素飽和度検査、睡眠時呼吸モニタリング、酸素療法、薬物療法、人工呼吸療法、呼吸理学療法、胸腔ドレナージ	講義 ①	教科書① 第3章 教科書② 第4章
	疾病論（内科系）			
7	感染症	・呼吸器系の代表的な疾患の病因、検査、治療、合併症、予後について理解する。 ・職業性疾患や作業関連疾患については、その関連性について理解する。 ・肺炎の症状、検査、治療、合併症、予後について理解する。 誤嚥性肺炎、沈下性肺炎、インフルエンザ、結核	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第7章
8	間質性肺疾患		講義 ①	教科書② 第5章

9 10	気道疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・間質性肺疾患の病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する。 間質性肺炎等、塵肺 	講義 ①	教科書③ 第7章
11	胸膜疾患 肺循環障害	<ul style="list-style-type: none"> ・気管支喘息、COPD（肺気腫等）の病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する。 気管支喘息、COPD、CO₂ナルコーシスに伴う治療（人工呼吸器、NIPPV） 	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第7章
12	肺・胸膜腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> ・気胸の病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する。 胸腔ドレナージ ・肺梗塞、肺塞栓症の病因、症状、検査、治療、合併症について理解する。 ・肺がん・悪性中皮腫の病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する。 ・アスベストとの関連について理解する。 肺がん、悪性中皮腫 	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第7章
13	疾病論（外科系） 肺がんの外科的治療 胸部外傷の外科的治療	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系の代表的な疾患の外科的治療について理解する。 ・肺がんの外科的治療、合併症、予後 ・胸部外傷の外科的治療、合併症、予後 	講義 ②	教科書④ 第1章
14	フィジカルアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系のフィジカルアセスメントについて理解できる。 1 呼吸器系のフィジカルアセスメントの目的 2 呼吸器系のフィジカルアセスメントの実際 	講義 演習 ③	教科書⑤ 第4章 教材① 【事前課題】 動画視聴 教科書⑥ 呼吸機能の アセスメント
15	終講試験		試験 ③	
教科書 参考書			評価方法	
①（系看）人体【1】解剖生理学（医学書院：eテキスト）			筆記試験	
②（系看）成人【2】呼吸器（医学書院：eテキスト）			【配点】	
③（系看）疾病【2】病態生理学（医学書院：eテキスト）			内科医師 80点	
④（系看）別巻 臨床外科看護各論（医学書院：eテキスト）			外科医師 20点	
⑤（系看）基礎【2】基礎看護技術Ⅰ（医学書院：eテキスト）				
⑥ eナーストレーナー【フィジカルアセスメント】（医学書院）			評価基準	
教材			60点以上で合格とする。	
① フィジカルアセスメント呼吸器系（ビデオ）				

担当者①②③実務経験あり

52 回生シラバス

科目名：構造と機能・疾病論Ⅲ (循環器系) 単位数： 1		担当者： ① 医師（循環器内科） ② 実習指導教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 30 (15)	時期：1年前期
科目目標： ・循環器系の構造と機能を理解する。 ・循環器系の代表的疾患の病態・検査・治療および合併症について理解する。				
回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲及び事前課題
1 2	構造と機能 心臓の構造と機能 血管の構造と機能	<ul style="list-style-type: none"> 心臓の構造と機能について理解する 心臓の構造、心臓の電気活動、心臓のポンプ作用、心臓機能の適応性 血管の構造と機能について理解する 動脈および静脈の構造、体循環と肺循環、血液の循環力学、血圧の調節 	講義 ①	教科書① 第4章 教科書② 第2章 教科書③ 第6章
3 4	症状とその病態生理	<ul style="list-style-type: none"> 循環器疾患に伴う症状とその病態生理について理解する 胸痛、動悸、呼吸困難、浮腫、チアノーゼ、失神、四肢の疼痛、ショック（心原性・出血性・血流分布異常性・アナフィラキシー） 	講義 ①	教科書② 第3章
5	検査	<ul style="list-style-type: none"> 循環器疾患に伴う検査と治療・処置について理解する 検査：心電図、胸部X線検査、心エコー、心臓カテーテル法、血行動態モニタリング、動脈血ガス分析、心筋シンチグラフィ、CT、MRI、心筋マーカー 	講義 ①	教科書② 第4章
6	疾病論 虚血性心疾患	<ul style="list-style-type: none"> 虚血性心疾患の病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する 職業性疾病や、作業関連疾患については、その関連性について理解する 狭心症、心筋梗塞、不整脈、洞不全症候群、心タンポナーデ、ペースメーカー、PTCA等 	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第6章
7	心筋症	<ul style="list-style-type: none"> 心筋症の原因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する 肥大型心筋症、拡張型心筋症 	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第6章
8	心不全	<ul style="list-style-type: none"> 心不全の病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する（前負荷、後負荷を含む） 	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③
9	血圧異常	<ul style="list-style-type: none"> 高血圧、動脈瘤の病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する 	講義 ①	第6章 教科書②

		本態性高血圧、二次性高血圧、本態性低血圧、起立性低血圧		第5章 教科書③ 第6章 教科書②
10	弁膜症	<ul style="list-style-type: none"> 弁膜症の病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する 大動脈弁、僧帽弁、狭窄症、閉鎖不全症 	講義 ①	第5章 教科書③ 第6章
11	静脈リンパ管疾患	<ul style="list-style-type: none"> 静脈リンパ管疾患の原因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する 血栓性静脈炎、静脈血栓症、深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、肺塞栓症、上大静脈症候群 	講義 ①	教科書③ 第6章
12	血管系の疾患	<ul style="list-style-type: none"> 血管系の疾患の原因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する 大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、バージャー病、高安動脈炎 	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第6章 教科書④ 第2章
13	炎症性疾患	<ul style="list-style-type: none"> 炎症性疾患の原因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する。 感染性心内膜炎、心筋炎、収縮性心膜炎 	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第6章 教科書④ 第2章
14	フィジカルアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> 循環器系のフィジカルアセスメントについて理解する。 1 循環器系のフィジカルアセスメントの目的 2 循環器系のフィジカルアセスメントの実際 	講義 演習 ②	教科書⑤ 第4章 教材① 【事前課題】 動画視聴 教科書⑥ 循環機能のアセスメント
15	終講試験		試験 ②	
教科書 参考書			評価方法	
① (系看) 人休【1】解剖生理学 (医学書院：eテキスト)			筆記試験 100点	
② (系看) 成人【3】循環器 (医学書院：eテキスト)				
③ (系看) 疾病【2】病態生理学 (医学書院：eテキスト)			評価基準	
④ (系看) 別巻 臨床外科看護各論 (医学書院：eテキスト)			60点以上で合格とする。	
⑤ (系看) 基礎【1】基礎看護技術I (医学書院：eテキスト)				
⑥ e ナーストレーナー【フィジカルアセスメント】(医学書院)				
教材				
① フィジカルアセスメント循環器系 (ビデオ)				

担当者①②実務経験あり

52 回生シラバス

科目名：構造と機能疾病論Ⅳ (消化器系) 単位数： 1		担当者： ① 医師 (消化器内科) ② 医師 (消化器内科) ③ 医師 (外科) ④ 実習指導教員 (臨床実務経験有)	総時間数 (回数)： 30 (15)	時期：1 年前期
科目目標： ・消化器の構造と機能について理解する。 ・消化器系の代表的な疾患の病因，症状，検査，治療，合併症，予後について学び理解する。				
回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲 及び 事前課題
			担当	
1	構造と機能 消化器系とは 食道の構造と機能 胃・十二指腸の構造と機能	・消化器系構造と機能について理解する 食道，胃・十二指腸 消化液 吐血 嘔気・胸やけ	講義 ①	教科書①第 2 章 教科書③ 第 8 章 教科書④ 第 2・3 章
2	小腸・大腸の構造と機能 消化器疾患の症状・徴候 とその病態生理	小腸、大腸 嚥下困難，嘔気・嘔吐，腹痛，下血，下痢， 便秘， 腹部膨満，食欲不振と体重減少	講義 ①	教科書① 第 2 章 教科書③ 第 8 章 教科書④ 第 2・3 章
3	肝臓の構造と機能 肝臓疾患に特有の症状・ 徴候とその病態生理	肝臓 胆汁，ビリルビン 腹水，黄疸，肝性脳症	講義 ①	教科書① 第 2 章 教科書③ 第 8 章 教科書④ 第 2・3 章
4	胆道系の構造と機能	胆道系 胆汁，ファーター乳頭	講義 ①	教科書① 第 2 章 教科書③ 第 8 章 教科書④ 第 2・3 章
5	膵臓の構造と機能	膵臓 膵外分泌 (アミラーゼ，リパーゼ)，膵内分 泌 (インスリン，グルカゴン)	講義 ①	教科書① 第 2 章 教科書③ 第 8 章 教科書④ 第 2・3 章

	疾病論（内科系）	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器系の代表的な疾患の病因・検査・治療・合併症・予後について理解する。 ・職業性疾病、作業関連疾患については、その関連性について理解する。 		
6	消化性潰瘍 腸閉塞	消化性潰瘍の病因，症状，検査，治療，合併症，予後 腸閉塞の病因，症状，検査，治療，合併症，予後	講義 ②	教科書② 第14章 教科書③ 第8章 教科書④ 第5章
7	潰瘍性大腸炎 クローン病	潰瘍性大腸炎の病因，症状，検査，治療，合併症，予後 クローン病の病因，症状，検査，治療，合併症，予後	講義 ②	教科書② 第14章 教科書③ 第8章 教科書④ 第5章
8	肝炎・肝硬変・	肝炎の病因，症状，検査，治療，合併症，予後 肝硬変の病因，症状，検査，治療，合併症，予後	講義 ②	教科書② 第14章 教科書③ 第8章 教科書④ 第5章
9	膵炎	膵炎の病因、症状、検査、治療、合併症、予後	講義 ②	教科書② 第14章 教科書③ 第8章 教科書④ 第5章
10	疾病論 胃癌	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器系の代表的な疾患の病因・検査・治療・合併症・予後について理解する。 ・職業性疾病、作業関連疾患については、その関連性について理解する。 胃癌の病因，症状，検査，治療，合併症，予後 胃癌の外科的治療の適応と術後合併症	講義 ③	教科書② 第13章 教科書③ 第8章 教科書④ 第5章
11	大腸癌	大腸癌の病因，症状，検査，治療，合併症，予後 大腸癌の外科的治療の適応と術後合併症	講義 ③	教科書② 第13章 教科書③ 第8章 教科書④

12	肝癌	肝癌の病因, 症状, 検査, 治療, 合併症, 予後 肝癌の外科的治療の適応と術後合併症	講義 ③	第5章 教科書② 第13章 教科書③ 第8章 教科書④ 第5章
13	食道癌・胆石	食道癌・胆石の病因, 症状, 検査, 治療, 合併症, 予後 食道癌・胆石の外科的治療の適応と術後合併症 腹腔鏡による手術	講義 ③	教科書② 第13章 教科書③ 第8章
14	フィジカルアセスメント	・腹部のフィジカルアセスメントを理解する。 1 腹部のフィジカルアセスメントの目的 2 腹部のフィジカルアセスメントの実際	講義 演習 ④	教科書⑤ 第4章 教材① 【事前課題】 動画視聴 教科書⑥ 栄養吸収・代謝 機能のアセス メント
15	終講試験		④	
教科書 参考書 ① (系看) 人体【1】解剖生理学 (医学書院:eテキスト) ② (系統) 疾病【1】病理学 (医学書院:eテキスト) ③ (系看) 疾病【2】病態生理学 (医学書院:eテキスト) ④ (系看) 成人【5】消化器 (医学書院:eテキスト) ⑤ (系看) 基礎【2】基礎看護技術 I (医学書院:eテキスト) ⑥ eナーストレーナー【フィジカルアセスメント】(医学書院)			評価方法 筆記試験 【配点】 消化器内科講師① (30点) 消化器内科講師② (40点) 消化器外科講師③ (30点)	
教材 ① フィジカルアセスメント消化器系 (ビデオ)			評価基準 60点以上で合格とする。	

担当者①②③実務経験あり

科目名：構造と機能疾病論Ⅴ (腎・泌尿器系) 単位数：1		担当者： ① 医師(泌尿器科) ② 医師(内科) ③ 実習指導教員(臨床実務経験有)	総時間数(回数)： 20(10)	時期： 1年前期
科目目標： ・腎・泌尿器系の構造と機能及び整理について学ぶ。 ・腎・泌尿器系の病因、症状、検査、治療、合併症について理解する。 ・腎・泌尿器系のフィジカルアセスメントを理解する。				
回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲 事前学習
1	腎・泌尿器の構造と機能	<ul style="list-style-type: none"> ・腎、泌尿器の構造と機能について理解する。 1 腎臓の構造と機能 2 排尿路の構造と機能 3 体液の調整 4 男性生殖器の構造と機能 	講義 ①	教科書① 第5章 第10章 教科書③ 第9章
2	症状とその病態生理	<ul style="list-style-type: none"> ・腎・泌尿器系疾患の症状とその病態生理について理解する。 ・職業や作業との関連性について理解する。 1 尿の異常 2 排尿に関連した症状 3 浮腫 4 循環器系の異常 5 血液の異常 6 尿毒症 7 疼痛(圧痛・疝痛) 8 腫脹・腫瘤 9 その他の症状 	講義 ①	教科書④ 第3章 教科書② 第14章
3	検査と治療	<ul style="list-style-type: none"> ・腎・泌尿器系疾患の検査と治療について理解する。 1 診察 2 検査 3 治療と処置 4 排尿管理 5 透析療法 6 腎移植 	講義 ②	教科書④ 第4章
4 5	疾病論(泌尿器系) 疾患の理解(泌尿器系)	<ul style="list-style-type: none"> ・泌尿器系疾患の病因、症状、検査、治療について理解する。 ・職業や作業との関連性について理解する。 1 尿路・性器の感染症 2 尿路の通過障害と機能障害 3 尿路損傷及び異物 4 尿路結石症 5 尿路・性器の腫瘍 6 発生・発育の異常 7 男性不妊症、男性性機能障害 	講義 ①	教科書④ 第5章 教科書② 第14章
6 7 8	疾病論(腎系) 疾患の理解(腎系)	<ul style="list-style-type: none"> ・腎系疾患の病因、症状、検査、治療について理解する。 ・職業性疾患、作業関連疾患についてはその関連性について理解する。 1 腎不全とAKI・CKD 2 ネフローゼ症候群 3 糸球体腎炎 4 全身性疾患による腎障害 5 尿細管間質性腎炎 6 腎血管性病変 7 尿細管機能異常 8 妊娠高血圧症候群 	講義 ②	教科書④ 第5章 教科書② 第14章

51 回生シラバス

9	フィジカルアセスメント	・腎・泌尿器系のフィジカルアセスメントを理解する。 1 問診 2 症状（尿の異常・排尿）と視診 3 症状（浮腫・脱水）と視診・触診 4 循環器系の異常と視診・聴診・触診 5 症状（尿毒症・疼痛・腫脹・腫瘤）と視診・触診	講義 演習 ③	教科書④ 第3章 教科書⑤ 第4章 【事前課題】 動画視聴 教科書⑥ 体液調節機能の アセスメント
10	終講試験		試験 ③	
教科書 参考書 ①（系看）人体【1】解剖生理学（医学書院：eテキスト） ②（系看）疾病【1】病理学（医学書院：eテキスト） ③（系看）疾病【2】病態生理学（医学書院：eテキスト） ④（系看）成人【8】腎・泌尿器（医学書院：eテキスト） ⑤（系看）基礎【2】基礎看護技術Ⅰ（医学書院：eテキスト） ⑥ e ナーストレーナー【フィジカルアセスメント】（医学書院）			評価方法 筆記試験 【配点】 泌尿器科講師（70点） 内科講師（30点） 評価基準 60点以上で合格とする。	

担当者①②③実務経験あり

52 回生シラバス

科目名：構造と機能疾病論Ⅵ (内分泌・代謝系) 単位数： 1		担当者： ① 医師（内科） ② 実習指導教員（臨床実務経験有）	総時間数(回数)： 20 (10)	時期： 1 年次後期
科目目標： 1.内分泌・代謝系の構造と機能及び生理について学ぶ。 2.内分泌・代謝系の病因・病変の、原因・症状、検査、治療、合併症について学ぶ。 3.内分泌・代謝系のフィジカルアセスメントについて学ぶ。				
回	単元	単元目標と内容	方法担当	学習範囲 事前課題
回 1 2 3	内分泌・代謝器官の構造と機能 ①内分泌器官の構造と機能 ②ホルモンの機能	視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎・性腺・その他 TSH-甲状腺ホルモン ACTH-コルチゾル系 GH-ソマトメジンC系 ゴナドトロピン-性腺ホルモン系 プロラクチン系 ADH系 カルシウム-P TH-ビタミンD系 副腎髄質系 レニンアンジオテンシンアルドステロン系 消化管ホルモン系 睥ホルモン	講義 ①	教科書① 第6章 教科書② 第6章 教科書③ 第10章
4	③代謝の概要と機能 検査	消化と吸収におけるメカニズム 糖代謝・カルシウム代謝 内分泌疾患の検査 代謝疾患の検査	講義 ①	教科書④ 第2章 教科書④ 第4章
5 6	内分泌疾患	視床下部-下垂体系の疾患 甲状腺疾患 副甲状腺疾患 副腎疾患 性腺疾患 消化管ホルモン産生腫瘍	講義 ①	教科書② 第15章 教科書④ 第5章
7 8	代謝疾患	糖尿病 脂質異常症 高尿酸血症 カルシウム・リン代謝異常 肥満症・メタボリックシンドローム	講義 ①	教科書② 第6章 教科書④ 第5章
9	フィジカルアセスメント	・内分泌・代謝系のフィジカルアセスメントについて理解する。 1 症状（体重変化・身長異常）と身体計測 2 症状（容貌の変化）と視診・頸部触診 3 症状（神経・筋症状）と問診・触診	講義 演習 ②	教科書④ 第3章 教科書⑤ 第4章 【事前課題】
10	終講試験		試験 ②	動画視聴 教科書⑥ 内部環境調節機能のアセスメント
教科書 ① (系看) 人体【1】解剖生理学 (医学書院：eテキスト) ② (系看) 疾病【1】病理学 (医学書院：eテキスト)			評価方法 筆記試験	100点

52 回生シラバス

③ (系看) 疾病【2】病態生理学 (医学書院：eテキスト) ④ (系看) 成人【6】内分泌・代謝 (医学書院：eテキスト) ⑤ (系看) 基礎【2】基礎看護技術Ⅰ (医学書院：eテキスト) ⑥ eナーストレーナー【フィジカルアセスメント】(医学書院)	評価基準 60点以上で合格とする
---	---------------------

担当者①②実務経験あり

52 回生シラバス

科目名： 構造と機能・疾病論Ⅶ (血液造血器・免疫系)		単位数： 1	担当者： ① 医師（内科） ② 医師（呼吸器内科） ③ 実習指導教員（臨床実務経験有）	総時間数(回数)： 30 (15)	時期： 1年後期
科目目標： ・血液造血器の組成と機能について理解する。 ・血液造血器の代表的な疾患の病因，検査，治療，合併症，予後について理解する。 ・免疫系のしくみとアレルギーについて理解する。 ・免疫系の代表的な疾患の病因，検査，治療，合併症，予後について理解する。 ・血液造血器・免疫系のフィジカルアセスメントについて理解する。					
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前学習	
1	(血液造血器) 血液の組成と機能	・血液の組成と機能について理解する。 1 血球の性状と機能 2 赤血球 3 白血球 4 血小板 5 血漿タンパク質 6 血液の凝固と繊維素溶解 7 血液型	講義 ①	教科書① 第3章	
2	骨髄および血液の疾患	・骨髄および血液の代表的な疾患について病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する。 1 骨髄の機能と血球の文化・成熟 2 貧血 3 白血球増加症と白血球減少症	講義 ①	教科書② 第11章 教科書③ 第5章 教科書④ 第3章 第4章	
3		1 骨髄の機能と血球の文化・成熟	講義 ①		
4		2 貧血	講義 ①		
5		3 白血球増加症と白血球減少症	講義 ①		
6		1 急性白血病 2 慢性骨髄性白血病 3 骨髄異形成症候群 4 形質細胞腫と多発性骨髄腫 5 特発性血小板減少性紫斑病 6 血友病 7 播種性血管内凝固症候群	講義 ①		
6	リンパ系および脾臓の疾患	・リンパ系および脾臓の疾患について病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する。 1 悪性リンパ種 1) ホジキンリンパ種 2) 非ホジキンリンパ種 2 脾腫	講義 ①		
7	(免疫系) 免疫のしくみと病態生理	・免疫のしくみとアレルギーについて理解する。 1 免疫の仕組み 2 免疫反応の低下 3 免疫反応の過剰	講義 ②	教科書③ 第3章 教科書⑤ 第2章	

8	アレルギー疾患	<p>4 免疫担当細胞と伝達物質</p> <p>5 化学伝達物質とサイトカイン</p> <p>6 アレルギーのしくみ</p> <p>・アレルギー疾患の病因, 検査, 治療, 合併症, 予後について理解する。</p> <p>1 アレルギー生鼻炎・結膜炎</p> <p>2 食物アレルギー</p> <p>3 アナフィラキシー</p> <p>4 アトピー性皮膚炎</p> <p>5 蕁麻疹</p> <p>6 接触性皮膚炎</p> <p>7 薬物アレルギー</p>	<p>講義</p> <p>②</p>	<p>教科書⑤</p> <p>第3章</p> <p>第4章</p>
9			<p>講義</p> <p>②</p>	
11	自己免疫疾患	<p>・自己免疫疾患とその機序について理解する。</p> <p>1 自己免疫疾患の病態</p> <p>2 症状とその病態生理</p> <p>関節痛・関節炎、レイノー現象、皮膚・粘膜</p> <p>症状、発熱、タンパク尿、筋力低下、血管炎に伴う症状</p>	<p>講義</p> <p>②</p>	<p>教科書⑤</p> <p>第3章</p> <p>第4章</p>
12			<p>講義</p> <p>②</p>	
13		<p>・免疫系の代表的な疾患の病因, 症状, 検査, 治療, 合併症, 予後について理解する。</p> <p>1 関節リウマチ</p> <p>2 全身性エリテマトーデス</p> <p>3 シェーングレイン症候群</p> <p>4 全身性強皮症</p> <p>5 多発筋炎・皮膚筋炎</p> <p>6 ベーチェット病</p>	<p>講義</p> <p>②</p>	<p>教科書⑤</p> <p>第5章</p>
	免疫低下に関連する疾患	<p>・免疫低下に関連する疾患の概念, 症状, 診断, 治療について理解する。</p> <p>1. 敗血症</p> <p>2. ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症</p>	<p>講義</p> <p>②</p>	<p>教科書⑤</p> <p>感染症</p> <p>第5章</p>
14		<p>・血液・免疫系のフィジカルアセスメントについて理解する</p> <p>1 血液・免疫系のフィジカルアセスメントの目的</p> <p>2 血液・免疫系のフィジカルアセスメントの実際</p>	<p>講義</p> <p>③</p>	
15	終講試験		<p>③</p>	
<p>教科書 参考書</p> <p>① (系看) 人体【1】解剖生理学 (医学書院:eテキスト)</p> <p>② (系看) 疾病【1】病理学 (医学書院:eテキスト)</p> <p>③ (系看) 疾病【2】病態生理学 (医学書院:eテキスト)</p> <p>④ (系看) 成人【4】血液・造血器 (医学書院:eテキスト)</p> <p>⑤ (系看) 成人【11】アレルギー・膠原病・感染症 (医学書院:eテキスト)</p>			<p>評価方法</p> <p>筆記試験</p> <p>【配点】</p> <p>内科講師 50点</p> <p>内科講師 50点</p>	
			<p>評価基準</p> <p>60点以上で合格とする。</p>	

担当者①②③実務経験あり

52 回生シラバス

科目名：構造と機能・疾病論Ⅷ（脳神経系） 単位数： 1		担当者： ① 医師（脳卒中科） ② 医師（脳外科） ③ 実習指導教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 30（15）	時期： 1年後期
科目目標： ・脳・神経系の構造と機能が理解できる。 ・脳・神経系の主な疾患について病態・検査・治療について理解できる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前学習
1 2	構造と機能 神経系の分類と構造	・脳・神経系の構造と機能について理解する 神経細胞（ニューロン）の構造と機能 神経膠細胞 神経伝達のしくみ	講義 ①	教科書① 第8章 教科書④ 第2章
3 4	中枢神経系（脳と脊髄） 末梢神経系 脳・脊髄の保護構造と 循環系 運動機能と感覚機能	・中枢神経系と末梢神経系について理解する 脳（大脳，脳幹，小脳），脊髄（運動系，感覚系），反射 脳神経，脊髄神経，体性神経，自律神経， ・脳神経の機能別解剖について理解する 髄膜・頭蓋骨などの外部構造 *脳模型（8分解）・頭蓋底付脳模型・頭部正中断面模型を用 いて、触れ、また模型を組み立てさせることにより、構造、位 置関係を理解する。 脳の血管系（動脈系，静脈系） 脳室系と脳脊髄液（髄液）循環 運動機能，感覚機能	講義 ①	
5 6 7	症状とその病態生理	・主な症状とその病態生理を理解する ・職業や作業と関連する場合は、その関連性を理解する。 意識障害・意識レベルの見方， 高次脳機能障害（失語，失行，失認，認知症） 運動機能障害（運動麻痺，運動失調，不随意運動，筋萎縮， けいれん） 感覚機能障害（感覚障害，視野障害） 自律性のある機能の障害（対光反射，瞳孔不同，嚥下障害，排 泄障害，呼吸障害，自律神経障害） 頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア 髄膜刺激症状、頭痛、めまい	講義 ①	教科書④ 第3章

	【疾病論】	<ul style="list-style-type: none"> ・脳神経系の代表的疾患についてその病因、検査、治療、合併症、予後について理解する。 ・職業性疾患、作業関連疾病についてはその関連性について理解する。 		
8	脳疾患		講義	教科書④
9	脳血管障害	<ul style="list-style-type: none"> ・脳血管障害・腫瘍の病因、検査、治療について理解する 疾患：くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、もやもや病 検査：CT, MRI, 神経学的検査を含めて 治療：外科的治療も含めて 	②	第5章
10	脳腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> ・おもな脳腫瘍の病因、検査、治療について理解する 疾患：神経膠腫、髄膜腫、下垂体先取 		参考教科書②
	頭部外傷	<ul style="list-style-type: none"> ・頭部外傷について症状、検査、治療について理解する 頭蓋骨の損傷、急性硬膜外血腫、急性硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫 		教科書③
	脳脊髄液の異常	<ul style="list-style-type: none"> ・脳脊髄液の異常による代表的な疾患の症状、検査、治療について理解する 疾患：水頭症、脳脊髄液減少症 		第12章
11	末梢神経障害	<ul style="list-style-type: none"> 末梢神経障害による疾患について理解する 疾患：ギラン・バレー症候群、顔面神経麻痺 	講義	
	筋疾患・神経筋接合部疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・筋疾患・神経筋接合部疾患について理解する 疾患：筋ジストロフィー、重症筋無力症、 	②	
12	脱髄・変性疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・変性疾患・脱髄疾患の病因、検査、治療について理解する 疾患：多発性硬化症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症 	講義	
	脳・神経系の感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・脳・神経系の代表的な感染症について理解する 疾患：脳炎、髄膜炎、脳膿瘍、クロイツフェルト・ヤコブ病 	②	
13	てんかん	<ul style="list-style-type: none"> ・主なてんかんの病因、発作型、検査、治療について理解する 部分発作、全般発作、てんかん重積発作 検査と治療、 	講義	
	認知症	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の分類、病因、症状、検査、治療について理解する アルツハイマー病、レビー小体型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症 	②	
14	フィジカルアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・脳神経系のフィジカルアセスメントについて理解する 1 神経系のフィジカルアセスメントの目的 2 神経系のフィジカルアセスメントの実際 	講義 演習	教科書⑤
15	終講試験		③	第4章
教科書 参考書			評価方法	
① (系看) 人体【1】解剖生理学 (医学書院：eテキスト)			筆記試験	
② (系看) 疾病【1】病理学 (医学書院：eテキスト)			【配点】	
③ (系看) 疾病【2】病態生理学 (医学書院：eテキスト)			構造と機能 50点	
④ (系看) 成人【7】脳・神経 (医学書院：eテキスト)			疾病論 50点	
⑤ (系看) 基礎【2】基礎看護技術I (医学書院：eテキスト)			評価基準	
⑥ eナーストレーナー【フィジカルアセスメント】(医学書院)			60点以上で合格とする。	

担当者①②③実務経験あり

52 回生シラバス

科目名： 構造と機能・疾病論Ⅸ（感覚器系） 単位数： 1		担当者：①医師（眼科） ②医師（耳鼻科） ③医師（皮膚科） ④実習指導教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 30 (15)	時期：1年後期
科目目標： ・感覚器系の構造と機能および生理、疾病の原因や病状、検査、治療、合併症、フィジカルアセスメントを学ぶ。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 及び 事前課題
1	眼科構造と機能・疾病論 眼の構造と機能	・眼の構造と機能について理解する。 眼球，視神経・視路，眼球付属器，眼底	講義 ①	教科書③ 第2章 教科書① 第8章
2 3	視機能に関連した症状	・視機能に関連した症状，また関連しない症状とその病態生理を理解する。 ・職業や作業が関連するものについては，その関連を理解する。 視力障害，視野障害，色覚異常，飛蚊症，夜盲，眼精疲労，複視，変視症，虹視症，小視症，巨視症，硝子体混濁，硝子体出欠	講義 ①	教科書③ 第3章
	視機能に関連しない症状	眼脂，充血，流涙，乾燥感，異物感，羞明，痒痒感，眼痛，眼球突出		
4 5	眼科で行われる検査 代表的な疾患	・視機能の障害と検査について理解する。 眼位・眼球運動検査，視力検査，屈折検査，調整力検査，視野検査，両眼視機能検査，色覚検査，眼圧検査，瞳孔検査，眼球突出検査，細隔灯顕微鏡検査，隅角検査，眼底検査，眼底画像診断，網膜電図検査，暗順応検査，涙液分泌検査，超音波検査，放射線検査 ・代表的な疾患の症状，検査，治療，合併症，予後について理解する。 流行性角結膜炎 網膜剥離 眼底検査 治療 術後合併症 緑内障 眼圧検査 治療 予後 白内障 治療 予後	講義 ①	教科書③ 第4章 教科書③ 第5章
6	耳鼻科構造と機能・疾病論 耳鼻咽喉・頸部の構造と機能	・耳鼻咽喉・頸部の構造と機能について理解する。 耳の構造と機能（外耳，中耳，内耳） 鼻の構造と機能（外鼻，鼻腔，副鼻腔） 咽喉頭の構造と機能（上咽頭，中咽頭，下咽頭，喉頭）	講義 ②	教科書④ 第2章 教科書① 第8章

7	耳鼻咽喉に特徴的な症状と病態生理と検査	<ul style="list-style-type: none"> 耳鼻咽喉に特徴的な症状と病態生理について理解する。 職業や作業が関連するものについては、その関連について理解する。 <p>難聴, 耳鳴, 眩暈, 耳漏, 鼻漏, 鼻閉, くしゃみ, 嗅覚障害, 鼻出血, 咽頭痛, 嚥下障害, 睡眠時無呼吸, 音声・言語障害, 嘔声, 耳鏡検査, 前鼻鏡検査, 純音聴力検査, 耳管機能検査, 平衡機能検査, 嗅覚検査, 味覚検査, 内視鏡検査</p>	講義 ②	教科書④ 第3章 第4章 教科書⑥ 第2章
8 9	代表的な疾患	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な疾患の症状, 検査, 治療, 合併症, 予後について理解する。 職業性疾病, 作業関連疾患についてはその関連性を理解する。 <p>中耳炎 症状, 検査, 治療, 合併症, 予後 メニエール病 症状, 検査, 治療, 合併症, 予後 副鼻腔炎 症状, 検査, 治療, 合併症, 予後 喉頭癌 症状, 検査, 治療, 合併症, 予後</p>	講義 ②	教科書④ 第5章
10	皮膚科構造と機能・疾病論 皮膚の構造と機能	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚の構造と機能について理解する。 <p>皮膚の構造 表皮, 真皮, 皮下脂肪織, 皮膚の脈管と神経, 皮膚付属器, 皮膚の機能 保護作用, 免疫機能, 保湿作用, 体温調節作用, 知覚作用, 分泌・排泄作用</p>	講義 ③	教科書② 第2章 教科書① 第9章
11	症状とその病態生理・検査	<ul style="list-style-type: none"> 特徴的な症状とその病態生理, 検査について理解する。 <p>発疹と続発疹, 瘙癢, 皮膚の老化 パッチテスト</p>	講義 ③	教科書② 第3章 第4章
12 13	代表的な疾患	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な疾患の症状, 検査, 治療, 合併症, 予後について理解する。 職業性疾病, 作業関連疾患についてはその関連性を理解する。 <p>接触皮膚炎 アトピー性皮膚炎 蕁麻疹 熱傷 放射線障害 褥瘡 蜂窩織炎 白癬 帯状疱疹 疥癬 悪性黒色腫</p>	講義 ③	教科書② 第5章
14	フィジカルアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> 感覚器(眼・耳・鼻・口)のフィジカルアセスメントについて理解する。 <p>1 感覚器(眼・耳・鼻・口)のフィジカルアセスメント 2 外皮系(皮膚・爪)のフィジカルアセスメント</p>	講義 演習 ④	教科書⑤ 第4章 教材① -事前課題- 動画視聴 教科書⑦ 感覚機能の アセスメント

15	終講試験		試験 ④	
<p>教科書 参考書</p> <p>① (系看) 人体【1】解剖生理学 (医学書院: eテキスト)</p> <p>② (系看) 成人【12】皮膚 (医学書院: eテキスト)</p> <p>③ (系看) 成人【13】眼 (医学書院: eテキスト)</p> <p>④ (系看) 成人【14】耳鼻咽喉 (医学書院: eテキスト)</p> <p>⑤ (系看) 基礎【2】基礎看護技術 I (医学書院: eテキスト)</p> <p>⑥ (系看) 疾病と回復【2】病態生理学 (医学書院: eテキスト)</p> <p>⑦ e ナーストレーナー【フィジカルアセスメント】(医学書院)</p> <p>教材</p> <p>① フィジカルアセスメント感覚器系 (ビデオ)</p>		<p>評価方法</p> <p>筆記試験 100 点</p> <p>【配点】 眼科講師 40 点 耳鼻科講師 30 点 皮膚科講師 30 点</p>		
		<p>評価基準</p> <p>60 点以上で合格とする。</p>		

担当者①②③④実務経験あり

52 回生シラバス

科目名：構造と機能・疾病論Ⅹ (運動器系)		担当者： ② 医師（整形外科） ② 医師（整形外科） ③ 実習指導教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 30 (15)	時期：1年前期
単位数： 1				
科目目標： ・運動器系の構造と機能が理解できる。 ・運動器系の主な疾患について病態・検査・治療について理解できる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 及び 事前学習
1 2	運動器の構造と機能	・運動器の構造と機能について理解する 骨、関節、神経と筋肉、腱と靭帯 *人体骨格模型・骨格付循環模型を活用し、骨関節の位置関係等をイメージ化させる	講義 ①	教科書① 第7章 教科書② 第2章
3 4	症状とその病態生理	・運動器疾患の症状と病態生理について理解する 疼痛、形態の異常、関節運動の異常、神経の障害、異常歩行または跛行、筋肉の障害、その他の障害	講義 ①	教科書② 第3章
5	診断・検査と治療・処置	・運動器疾患の診断と検査及び治療処置について理解する 診察・診断の流れ、検査、治療と処置	講義 ①	教科書② 第4章
6	疾病論（骨関節系） 外傷性の運動器疾患	・外傷性運動器疾患の要因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する ・職業性疾病、作業関連疾患についてはその関連性を理解する。 骨折（骨粗鬆症についても触れる）、脱臼、捻挫・打撲	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第18章
7	筋・腱・靭帯などの疾患	・筋・腱・靭帯などの疾患の要因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する 筋断裂、アキレス腱断裂、手指の腱断裂、筋ジストロフィー、重症筋無力症	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第17章
8	骨・関節の炎症性疾患	・骨・関節の炎症性疾患の病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する 骨髄炎、化膿性関節炎、関節リウマチ	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第18章
9	変形性関節症	・変形性関節症の病因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する 変形性股関節症、変形性膝関節症	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第18章

10	骨腫瘍及び軟部腫瘍	・骨腫瘍および軟部腫瘍の病因、症状、検査、治療合併症、予後について理解する 良性腫瘍、悪性腫瘍（骨肉腫）	講義 ①	教科書② 第5章 教科書③ 第18章
11 12 13	疾病論（神経系） 外傷性の運動器疾患 神経の損傷 脊椎の疾患	・脊椎系疾患及び神経損傷に関する疾患の要因、症状、検査、治療、合併症、予後について理解する 脊髄損傷、末梢神経損傷、頸部脊椎症性脊髄症・神経根症、 腰椎椎間板ヘルニア 脊椎分離症及び脊椎すべり症、二分脊椎	講義 ②	教科書② 第5章 教科書③ 第18章 教科書④ 第4章
14	フィジカルアセスメント	・運動器系のフィジカルアセスメントを理解する 1 筋・骨格系のフィジカルアセスメントの目的 2 筋・骨格系のフィジカルアセスメントの実際	講義 演習 ③	教科書⑤ 第4章 教材① 【事前課題】 動画視聴 教科書⑥ 運動調節機能の アセスメント
15	終講試験		試験 ③	
教科書 参考書 ①（系看）人体【1】解剖生理学（医学書院：eテキスト） ②（系看）成人【10】運動器（医学書院：eテキスト） ③（系看）疾病【1】病理学（医学書院：eテキスト） ④（系看）別巻 臨床外科看護各論（医学書院：eテキスト） ⑤（系看）基礎【2】基礎看護技術I（医学書院：eテキスト） ⑥e ナーストレーナー【フィジカルアセスメント】（医学書院） 教材 ① フィジカルアセスメント運動器系（ビデオ）			評価方法 筆記試験 【点数配分】 整形外科医師（70点） 整形外科医師（30点） 評価基準 60点以上で合格とする。	

担当者①②③実務経験あり

52 回生シラバス

科目名：構造と機能・疾病論XI (女性生殖系) 単位数：1		担当者： ① 医師（婦人科） ② 医師（乳腺外科） ③ 実習指導教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 20（10）	時期：1年後期
科目目標： ・女性生殖系系の構造と機能を理解する。 ・女性生殖系系の主な疾患について病態・検査・治療について理解する。 ・女性生殖系系のフィジカルアセスメントについて理解する。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 及び 事前学習
1 2 3	女性生殖系系の構造と機能	・女性生殖系系の構造と機能を理解する。 1 女性の生殖系系の構造・機能 卵巣 卵管・子宮・膣 外陰部と会陰 乳腺 2 女性の生殖機能 性周期	講義 ①	教科書①第2章
4 5 6	疾病論 (疾病内科) 子宮・卵巣の疾患	・女性生殖系系の代表的な疾患について病因、症状、検査、治療、予後について理解する。 1 子宮筋腫 子宮筋腫合併妊娠 2 子宮内膜症 3 子宮癌（頸がん・体がん） 子宮癌合併妊娠 4 卵巣嚢腫・卵巣癌	講義 ①	教科書①第5章
7	月経異常に関する疾患 感染症	1 月経異常・月経随伴症状 1 性器感染症 カンジタ クラミジア 膣トリコモナス HIV感染症 B群溶血性レンサ球菌感染症	講義 ①	教科書①第5章
8	(疾病外科) 乳腺の疾患	1 乳癌	講義 ②	教科書①第5章 教科書②第1章
9	フィジカルアセスメント	・女性生殖系系のフィジカルアセスメントについて理解できる。 1 問診 2 症状（出血・帯下・疼痛・発熱・掻痒感・リンパ浮腫）と視診 3 症状（下腹部膨満・腫瘤感）と腹部触診 4 乳房・腋窩のフィジカルアセスメント	講義 演習 ③	【事前課題】 動画視聴 教科書③第4章 教科書④ 生殖機能のアセスメント

10	終講試験		試験 ③	
教科書 参考書 ① (系看) 成人【9】女性生殖器 (医学書院:eテキスト) ② (別巻) 臨床外科看護各論【9】 (医学書院:eテキスト) ③ (系看) 基礎【2】基礎看護技術I (医学書院:eテキスト) ④ e ナーストレーナー【フィジカルアセスメント】(医学書院)			評価方法 筆記試験 【配点】 婦人科講師 90点 外科講師 10点	評価基準 60点以上で合格とする。

担当者①②③実務経験あり

51 回生シラバス

科目名： 精神障害と精神疾病論	単位数： 1	担当者： ① 医師（精神科）	総時間数（回数）： 20（10）	時期： 2年前期
科目目標： ・精神障害の現れ方の特徴と、主な疾病の原因・診断・症状・治療を理解する。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1 2 3 4 5	精神科疾患のあらわれ方	<ul style="list-style-type: none"> ・精神症状のとらえ方について理解できる。 精神を病むことと生きること 精神症状論と状態像 症状とは何か さまざまな精神症状 ①思考の障害 ②感情の障害 ③意欲の障害 ④知覚の障害 ⑤意識の障害 ⑥記憶の障害 ・精神障害の診断と分類、それに基づくさまざまな精神障害について理解する。 精神障害の診断と分類 診断と疾病分類 統合失調症 気分障害 神経症性障害 行動症候群 パーソナリティ障害 器質性精神障害 精神および行動の障害 てんかん 神経発達障害群 秩序破壊的・行動制御・素行障害群 	講義 ①	教科書① 第5章
6 7 8	精神科での治療	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科における薬物治療を理解する。 ・精神科における精神療法を理解する。 薬物療法と有害反応 向精神薬と薬理作用 抗精神病薬 抗うつ薬 気分安定薬 抗不安薬 睡眠薬 抗てんかん薬 抗認知症薬 抗酒薬 精神刺激薬 電気けいれん療法 精神療法 個人療法 集団精神療法 家族療法 環境療法・社会療法 	講義 ①	教科書① 第6章
9				教科書① 第6章
10	終講試験		試験 ①	
教科書 参考書 ①（系看）精神【1】 精神看護の基礎（医学書院：eテキスト）			評価方法 ・筆記試験 100点	
			評価基準 60点以上で合格とする。	

担当者①実務経験あり

51 回生シラバス

科目名：小児疾病論		単位数：1	担当者： ① 医師（小児科）	総時間数（回数）： 20（10）	時期： 2 年次前期
科目目標： 小児の主要な疾患による健康障害と基本的な回復過程について理解する					
回	単元	単元目標と内容		方法 担当	学習範囲 事前課題
1	染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と新生児特有の疾患	染色体異常の概論、症状、治療、検査、合併症等について理解する ・ダウン症候群・新生児仮死・低出生体重児		講義 ①	教科書① 第1・2章
2	代謝・内分泌系の疾患 感覚器疾患	代謝性疾患と内分泌疾患・感覚器の概論、症状、治療、検査、合併症等について理解する ・糖尿病・GHD・先天性甲状腺機能低下症・斜視・中耳炎など		講義 ①	教科書① 第3・4・15・19・17章
3	免疫・アレルギー・リウマチ性疾患	免疫疾患とアレルギー疾患、リウマチ性疾患の概論、症状、治療、検査、合併症等について理解する ・食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・気管支喘息・若年性特発性関節炎・リウマチ性疾患など		講義 ①	教科書① 第5・16・17章
4	感染症 呼吸器疾患	小児期に多い感染症の概論、症状、治療、検査、合併症等について理解する。 ・ウイルス感染症・細菌感染症・心筋感染症・中耳炎・上気道炎・急性胃腸炎など		講義 ①	教科書① 第6・7・9章
5	循環器疾患	循環器系疾患の概論、症状、治療、検査、合併症等について理解する ・先天性心疾患・後天性心疾患・川崎病・突然死		講義 ①	教科書① 第8章
6	消化器疾患	消化器系疾患の概論、症状、治療、検査、合併症等について理解する ・口腔疾患・鎖肛・腸重積・肥厚性幽門狭窄症など		講義 ①	教科書① 第9章
7	血液・造血器系疾患	血液・造血器系疾患の概論、症状、治療、検査、合併症等について理解する ・貧血・出血性疾患・白血病など		講義 ①	教科書① 第10・11章
8	腎・泌尿器および生殖器疾患 神経疾患 運動器疾患	腎・泌尿器及び生殖器系疾患・神経・運動器疾患の概論、症状、治療、検査、合併症等について理解する ・急性糸球体腎炎・ネフローゼ症候群・てんかん・脳性麻痺・熱性けいれん・筋ジストロフィー・二分脊椎・先天性股関節脱臼・先天性内反足など		講義 ①	教科書① 第12・13・14章
9	精神疾患	精神疾患の概論、症状、治療、検査、合併症等について理解する 発達障害など		講義 ①	教科書① 第18章
10	終講試験			試験	
教科書 ①（系看）小児【2】小児臨床看護各論（医学書院：eテキスト） ②こどもの病気の地図帳（講談社）				評価方法 筆記試験 100点 評価基準 60点以上で合格とする。	

担当者①実務経験あり

52 回生シラバス

科目名： 臨床生化学と臨床微生物学	単位数： 1	担当者： ① 非常勤講師	総時間数（回数）： 30 (15)	時期： 1年前期
科目目標： 人体の構成成分である化学物質の性状、分布、代謝、微生物の特徴と生体に及ぼす影響とその対応について学ぶ。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 及び 事前課題
1	第1部 生体を構成する物質と その代謝	1. 生化学を学ぶための基礎知識 A: 生化学とは B: 生体の化学の基礎知識 C: 生命とは D: 細胞の構造と機能 2. 代謝の基礎と酵素・補酵素 A: 代謝と生体のエネルギー B: 酵素の基礎知識 C: 補因子 D: ビタミン E: 酵素の反応速度 F: 酵素の阻害	講義 ①	教科書① 第1章 第2章
2		3. 糖質の構造と機能 A: 糖質とは B: 単糖の構造と機能 C: 二糖の構造と機能 D: 多糖の構造と機能 4. 糖質代謝 A: 糖質の消化と吸収 B: グルコースの分解 C: グリコーゲン代謝 D: ペントースリン酸経路 E: 糖新生 F: ガラクトース・マンノース・フルクトースの分解 G: 糖質代謝に関する遺伝性疾患	講義 ①	第3章 第4章
3		5. 脂質の構造と機能 A: 脂質とは B: 脂質の種類 C: リポタンパク質 6. 脂質代謝 A: 脂質の消化と吸収 B: 脂肪酸の分解 C: 脂質の合成 D: 脂質代謝に関する遺伝性疾患	講義 ①	第5章 第6章
4		7. タンパク質の構造と機能 A: タンパク質とは	講義 ①	第7章

		B:アミノ酸 C:蛋白質の構造		第8章
		8. タンパク質代謝 A:タンパク質の消化と吸収 B:アミノ酸の分解 C:非必須アミノ酸の合成		第9章
		9. ポルフィリン代謝と異物代謝 A:ポルフィリン B:生体異物代謝 C:活性酸素とその除去反応		第10章
5	第2部	1. 遺伝子と核酸	講義	第10章
6	遺伝情報とその発現	A:遺伝情報 B:遺伝学の基礎知識 C:核酸の構造と機能 D:核酸の代謝	①	
		2. 遺伝子の複製・修復・組換え A:DNAの複製 B:DNAの修復 C:DNAの組換え D:DNAの修復機構の異常による遺伝子疾患 E:遺伝子多型		第11章
		3. 転写 A:転写とは B:転写の開始とRNA鎖の伸長 C:転写の終結 D:RNAのプロセシング E:遺伝子の発現調節		第12章
		4. 翻訳と翻訳後修飾 A:翻訳の概要 B:翻訳のメカニズム C:タンパク質の折たたみと輸送・修飾 D:翻訳後修飾 E:細胞内輸送シグナル		第13章
7	第3部	1. シグナル伝達	講義	第14章
	細胞のシグナル伝達と がん	A:シグナル伝達の概要 B:細胞内シグナル伝達の機序 C:内分泌の生化学的基盤	①	
		2. がん A:がんの性質 B:細胞周期とがん C:がん遺伝子 D:がん抑制遺伝子 E:染色体転座 F:がん薬物療法		第15章

8 9	第1部 微生物学の基礎	1. 微生物と微生物学 A:微生物の性質 B:微生物と人間 C:微生物の対象と目的 D:微生物学の歩み 2. 細菌の性質 A:細菌の形態と特徴 B:培養環境と栄養 C:細菌の遺伝 D:細菌の分類 E:常在細菌叢 3. ウイルスの性質 A:ウイルスの特徴 B:ウイルスの構造と各部分の機能 C:ウイルスの増殖 D:ウイルスの分類 4. 真菌の性質 A:真菌の形態と特徴 B:真菌の増殖 C:真菌の分類と命名法 D:栄養と培養	講義 ①	教科書② 第1章 第2章 第3章 第4章
10 11	第2部 感染とその防御	1. 感染と感染症 A:微生物感染の機構 B:感染の成立から発症後の経過まで C:細菌感染の機構 D:ウイルス感染の機構 E:真菌感染の機構 2. 感染に対する生体防御機構 A:感染にかかわる細胞、組織 B:自然免疫のしくみ C:獲得免疫のしくみ D:粘膜免疫のしくみ E:感染の徴候と症状 3. 感染源・感染経路からみた感染症 A:経口感染 B:経気道感染 C:接触感染 D:経皮感染 E:母児感染 4. 滅菌と消毒 A:バイオハザードとバイオセーフティ B:滅菌・消毒の意義と定義 C:熱による滅菌・消毒 D:放射線・紫外線による滅菌・消毒 E:ガス滅菌 F:濾過除菌	講義 ①	第6章 第7章

		G:消毒薬		第8章
		5. 感染症の検査と診断 A:病原体を検出する方法 B:生体反応から診断する方法		第9章
		6. 感染症の治療 A:抗菌薬 B:抗ウイルス薬 C:抗真菌薬		第10章
		7. 感染症の現状と対策 A:感染症の変遷 B:感染症の現状と問題点 C:感染症への対策		第11章
12	第3部	1. 病原細菌と細菌感染症	講義	第11章
13	おもな病原微生物	A:グラム陽性球菌	①	
		B:グラム陰性球菌		
		C:グラム陰性好気性桿菌		
		D:グラム陰性通性桿菌		
14		E:カンピロバクター属・ヘリコバクター属		
		F:グラム陽性桿菌		
		G:抗酸菌と放線菌		第12章
		H:嫌気性菌		
		I:スピロヘータ		
		J:マイコプラズマ		
		K:リケッチア目		第13章
		L:クラミジア科		
		2. 病原ウイルスとウイルス感染症		
		A:DNA ウイルス		
		B:RNA ウイルス		
		C:ウイルスの臨床的分類		
		3. 病原真菌と真菌感染症		
		A:深在性真菌症をおこす真菌		
		B:深部皮膚真菌症をおこす真菌		
		C:表在性真菌症をおこす真菌		
		4. 病原ウイルスとウイルス感染症		付章
		A:DNA ウイルス		
		B:RNA ウイルス		
		C:ウイルスの臨床的分類		
15	終講試験		試験	
			①	
教科書・参考書			評価方法	
① (系看)人体	【2】 生化学	(医学書院：eテキスト)	筆記試験	100点
② (系看)疾病	【4】 微生物学	(医学書院：eテキスト)	評価基準	
			60点以上で合格とする。	

51 回生シラバス

科目名：臨床薬理学 単位数： 1		担当者： ① 薬剤部 部長 ② 専任教員（臨床実務経験有） ③ 専任教員（臨床実務経験有） ④ 専任教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 30（15）	時期： 2年前期
科目目標： ・薬物療法の目的、薬物の特徴、作用機序、人体への影響、及び薬物の管理について学ぶ。				
回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲 事前課題
1 2	薬理学の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物が作用する原理と作用に影響を与える要因と薬物を適切かつ安全に使用するための注意事項を理解する。 ・薬物に関連する法律を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 薬物による病気の治療 2 薬理学とはなにか 3 薬物が作用するしくみ 4 薬の体内動態（薬物動態学） 5 薬物相互作用 6 薬効の個人差に影響する因子 7 薬物使用の有益性と危険性 8 薬物と法律 	講義 ①	教科書① 第1章 第2章
3	抗感染症薬	<ul style="list-style-type: none"> ・抗感染症薬の作用のしくみ、薬の種類と特性を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 感染症治療に関する基礎事項 2 抗菌薬 3 抗真菌薬・抗ウイルス薬・抗寄生虫薬 4 感染症の治療における問題点 	講義 ①	教科書① 第3章
4	抗がん薬	<ul style="list-style-type: none"> ・抗がん薬の作用としくみ、薬の種類と特性を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 がん治療に関する起始事項 2 抗がん薬各論 	講義 ①	教科書① 第4章
	免疫治療薬	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫治療薬の作用としくみ、薬の種類と特性を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 免疫系の基礎知識 2 免疫抑制薬 3 免疫増強薬・予防接種薬 	講義 ①	教科書① 第5章
5	抗アレルギー薬・ 抗炎症薬	<ul style="list-style-type: none"> ・抗アレルギー薬と抗炎症薬の作用としくみ、薬の種類と特性を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 2 炎症と抗炎症薬 3 関節リウマチ治療薬 4 痛風・高尿酸血症治療薬 	講義 ①	教科書① 第6章
6	末梢での神経活動に作用する薬物	<ul style="list-style-type: none"> ・神経伝達と神経系への作用としくみ、薬の種類と特性を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 神経系による情報伝達 2 自律神経系作用薬 3 交感神経系作用薬 4 副交感神経系作用薬 5 筋弛緩薬・局所麻酔薬 	講義 ①	教科書① 第7章
7	中枢神経系に作用する薬物	<ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経系への作用としくみ、薬の種類と特性を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 中枢神経系のはたらきと薬物 2 全身麻酔 3 催眠薬・抗不安薬 4 抗精神病薬 5 抗うつ薬・気分安定薬 6 パーキンソン症候群治療薬 	講義 ①	教科書① 第8章

8	循環器系に作用する薬物	<ul style="list-style-type: none"> 7 抗てんかん薬 8 麻薬性鎮痛薬 9 片頭痛治療薬 <ul style="list-style-type: none"> ・循環器系への作用としくみ、薬の種類と特性を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 降圧薬 2 狭心症治療薬 3 心不全治療薬 4 抗不整脈薬 5 利尿薬 6 脂質異常症治療薬 7 血液凝固系・線溶系に作用する薬物 8 血液に作用する薬物 	講義①	教科書① 第9章
9	呼吸器系・消化器系・生殖器系に作用する薬物	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器・消化器・生殖器系への作用としくみ、薬の種類と特性を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 呼吸器系に作用する薬物 2 消化器系に作用する薬物 3 生殖器・泌尿器系に作用する薬物 	講義①	教科書① 第10章
10	物質代謝に作用する薬物 皮膚科用薬・眼科用薬	<ul style="list-style-type: none"> ・物質代謝への作用としくみ、薬の種類と特性を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 ホルモンとホルモン拮抗薬 2 治療薬としてのビタミン ・皮膚科用薬・眼科用薬の作用としくみを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 皮膚に使用する薬物 2 眼科用薬 	講義①	教科書① 第11章 第12章
11	救急の際に使用される薬物 漢方薬 消毒薬	<ul style="list-style-type: none"> ・救命救急時に使用する薬の使用上の注意点について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 救急に用いられる薬物 2 急性中毒に対する薬物 ・漢方の起始知識を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 漢方医学の基礎知識 2 漢方薬各論 ・消毒薬の種類と応用を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 消毒薬とは ・輸液製剤・輸血について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 輸液製剤 2 輸血剤 	講義①	教科書① 第13章 第14章 教科書① 第15章 付章
12 13 14	発達段階に合わせた薬の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に合わせた薬の使用と管理の方法について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 薬効の個人差に影響する因子 <ul style="list-style-type: none"> ①新生児・妊婦への薬物投与と管理 ②小児への薬物投与と管理 ③高齢者への薬物投与と管理 	講義② ③ ④	教科書① 第2章 教科書② 第9章 教科書③ 第3章 教科書④ 第6章 教科書⑤ 第5章
15	終講試験		試験①	
教科書 参考書			評価方法	
① (系看) 疾病【3】薬理学 (医学書院：eテキスト)			筆記試験 100点	
② (系看) 基礎【2】基礎看護技術Ⅰ (医学書院：eテキスト)				
③ (系看) 母性看護学各論 (医学書院：eテキスト)			評価基準	
④ (系看) 小児看護学概論・小児臨床看護総論 (医学書院：eテキスト)			60点以上で合格とする。	
⑤ (系看) 老年看護 病態・疾病論Ⅱ (医学書院：eテキスト)				

担当者①②③④実務経験あり

51 回生シラバス

科目名：臨床栄養学 単位数： 1		担当者： ① 主任管理栄養士（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 30（15）	時期： 2年前期
科目目標： ・人体にとっての栄養の意義を認識し、健康と食生活との関連を理解するとともに、食事療法の基本を学ぶ。 ・栄養指導に関わる看護師の役割を理解し、栄養指導の方法が理解できる。				
回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲 事前課題
1	人間栄養学と看護	・「食」と「栄養」について考え、人にとっての必要性を理解する。 1 栄養を学ぶということ 2 保健・医療における栄養学 3 看護と栄養	講義 ①	教科書① 第1章
2	栄養素の種類とはたらき	・栄養素の種類とはたらきについて理解する。 1 糖質 2 脂質 3 タンパク質 4 ビタミン 5 ミネラル 6 食物繊維 7 水	講義 ①	教科書① 第2章
3	食物の消化と栄養素の吸収・代謝	・食物の消化、栄養素の吸収・代謝について理解する。 1 食物の消化 2 栄養素の吸収 3 血漿成分と栄養素 4 栄養素の代謝 5 吸収・代謝産物の排泄	講義 ①	教科書① 第3章
4	エネルギー代謝	・食品のエネルギーとエネルギーの代謝について理解する。 1 食品のエネルギー 2 体内のエネルギー 3 エネルギー代謝の測定 4 エネルギー消費	講義 ①	教科書① 第4章
5	食事と食品	・「日本食品標準成分表」に記載される18の食品群の分類とバランスのよい食事を理解する。 1 食事とその変遷 2 食事摂取基準 3 食品群とその分類 4 食品に含まれる栄養素 5 食品の調理	講義 ①	教科書① 第5章
6	栄養ケア・マネジメント	・疾病の治療や健康の維持・増進に役立つ栄養ケアとマネジメントについて理解する。 1 チームアプローチと栄養ケア・マネジメント	講義 ①	教科書① 第6章 教科書②

	栄養状態の評価・判断	<ul style="list-style-type: none"> 2 栄養スクリーニング・アセスメント・評価 3 栄養ケア計画、実施とモニタリング <p>・適切な栄養補給や栄養ケアを実施するために必要な栄養状態の評価・判定について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 栄養アセスメントの意義・方法・総合評価 	講義 ①	第1章 教科書① 第7章
7 8	ライフステージと栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に合わせた適切な栄養補給について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 乳幼児期 2 幼児期 3 学童期 4 思春期・青年期 5 成人期 6 妊娠期 7 授乳期 8 高齢期 	講義 ①	教科書① 第8章
9 10	臨床栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床における栄養管理の実際と他職種連携について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 チームで取り組む栄養管理 2 病院食 3 栄養補給法 4 経腸栄養製品 5 静脈栄養剤 6 疾患・症状別食事療法 7 場面別の栄養管理 8 がんの食事療法 	講義 ①	教科書① 第9章 教科書② 第2章
11	健康づくりと食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の変遷に合わせた健康づくりの必要性を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 食生活の変遷と栄養の問題点 2 生活習慣病の予防 3 食生活の改善への施策 4 食の安全性と表示 	講義 ①	教科書① 第10章
12 13 14	症状をもつ患者の栄養食事療法	<ul style="list-style-type: none"> ・健康障害を抱える患者の栄養食事療法について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 1 呼吸器疾患患者の栄養食事療法 2 循環器疾患患者の栄養食事療法 3 消化器疾患患者の栄養食事療法 4 腎・泌尿器疾患患者の栄養食事療法 5 栄養代謝性疾患患者の栄養食事療法 6 血液疾患患者の栄養食事療法 7 アレルギー疾患患者の栄養食事療法 8 精神・神経疾患患者の栄養食事療法 9 熱傷・褥瘡の栄養食事療法 10 術前・術後の栄養管理 11 がん患者の栄養食事療法 12 健康障害に合わせた栄養食事管理と指導の実際 	講義 GW 発表 ①	教科書② 第3章 ～第14章
15	終講試験		試験 ①	
教科書・参考書		評価方法		
① (系看) 人体【3】栄養学 (医学書院：eテキスト)		筆記試験		
② (系看) 別巻 栄養食事療法 (医学書院：eテキスト)		グループワーク課題		
③ 糖尿病のための食品交換表 (文光堂)		【配点】		
		筆記試験：60点		
		課題：40点		
		評価基準		
		60点以上で合格とする。		

担当者①実務経験あり

51 回生シラバス

科目名：リハビリテーション 単位数： 1		担当者： ① 理学療法士（中央リハビリテーション部長） ② 専任教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 15 (8)	時期： 2年前期
<p>科目目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションに必要な身体の構造と機能、各障害の機序に合わせた支援方法の実際を学ぶ。 ・リハビリテーションの意義を学び、社会復帰に必要なリハビリテーション看護を理解する。 				
<p>習得すべき看護技術</p> <p>「自動他動運動の援助」</p>				
回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲 事前課題
1	リハビリテーション 概論	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの定義と理念について理解する。 1 リハビリテーションの定義と理念 2 リハビリテーションの対象と制度 3 疾病・障害・生活機能の分類 4 リハビリテーションの分野 5 リハビリテーション医療の提供 	講義 ①	教科書① 第1章
2	運動器系の障害とリ ハビリテーション看護	<ul style="list-style-type: none"> ・運動器系の障害を持つ患者のリハビリテーションについて理解する。 1 総論 2 骨折 3 関節リウマチ 4 リハビリテーションの実際 関節拘縮とROMT、筋拘縮とMMT ポジショニングの必要性和注意点、杖歩行の必要性和注意点 等尺運動と緊張性運動 	講義 演習 ①	教科書① 第3章 【事前課題】 動画視聴 活動・休息援助技術
3	中枢神経系の障害と リハビリテーション看護	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて運動器系の障害を持つ患者のリハビリテーションの必要性和方法が理解できる。 1 脳血管障害 2 パーキンソン病 3 脊髄損傷 4 リハビリテーションの実際 演習：ROMT MMT 麻痺のある患者のベッドから車椅子までの移動の援助 杖歩行、ポジショニング ・中枢神経系の障害を持つ患者のリハビリテーションについて理解する。 1 嚥下障害の評価とリハビリテーション 演習：反復唾液嚥下テスト（RSS T）嚥下造影検査（VF） 高次機能障害とリハビリテーション 失語、失認、失行 退院に向けてのADL等 自助具他 	講義 演習 ①	教科書① 第4章
4	呼吸器・循環器系の 障害とリハビリテー ション看護	<ul style="list-style-type: none"> ・生活機能障害と日常生活動作（ADL）について理解する。 ・社会参加を促す要素と阻害要因を学び、患者の社会参加への支援、就労条件・環境の調整の必要性について理解する。 1 慢性閉塞性肺疾患 	講義 演習 ①	教科書① 第5章

5	作業療法	<p>2 虚血性心疾患 3 リハビリテーションの実際 演習：呼吸理学療法(呼吸介助他)、COPD患者の移動時の呼吸法</p> <p>・作業療法について理解する。 1 作業の意味や意義、生活行為工夫マネジメント 2 福祉用具、Splint の紹介および適応について 3 自宅復帰や社会復帰に向けての支援 住環境整備、就労支援など</p>	講義 演習 ①	
6	言語聴覚療法	<p>・言語聴覚療法について理解する。 1 中枢神経系の言語機能障害[構音障害、高次脳機能障害]に対する訓練 2 摂食・嚥下機能障害に対する評価とその訓練 3 検査および評価 反復唾液嚥下テスト(RSST)、嚥下造影検査(VF)など</p>	講義 演習 ①	
7	関節可動域訓練の実際	学生間評価「自動・他動運動の援助」	学生間 評価 ②	
8	終講試験		試験 ①	
<p>教科書・参考書</p> <p>① (系看) 別巻【3】リハビリテーション看護 (医学書院:eテキスト) ② (系看) 人体【1】解剖生理学 (医学書院:eテキスト) ③ (系看) 疾病【1】病態生理学 (医学書院:eテキスト) ④ eナーストレーナー (医学書院) ⑤ 講師配布資料</p>		<p>評価方法</p> <p>筆記試験 90点 実技試験 10点</p> <p>評価基準</p> <p>60点以上で合格とする。</p>		

担当者①②実務経験あり